

# 北斗だより

令和7年度 第12号  
(3月1日発行)  
愛媛県立今治北高等学校

## 卒業に向けて

3学年主任 安部 光洋

余寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に深い御理解と温かい御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この冬は世界中が冬季オリンピックの熱気に包まれました。選手たちが自らの限界に挑み、最後の一瞬まで「諦めない」姿勢を貫く姿、そして仲間と互いに「支え合い」ながら競技に臨む姿は、多くの人々に勇気と感動を与えました。競技の結果だけでは語り尽くせない努力の積み重ねや、仲間との絆の深さが、画面越しにも強く伝わってきたことと思います。

振り返れば、3年生の歩みもまた、まさにその姿と重なります。高校生活の3年間は、思春期の揺れ動く心と向き合いながら、自分自身を見つめ、将来を選び取っていく大切な時期でした。思うようにいかず悔しさに涙した日、努力が実を結び喜びを分かち合った日、仲間の言葉に救われた日、その一つ一つが、確かな成長へとつながっていきました。特に3年生の1年間は、進路選択という大きな壁に向き合いながら、互いに励まし合い、支え合い、最後まで諦めずに挑戦する姿が印象的でした。

そして今、子どもたちはそれぞれの進路へ向けて、新たな一步を踏み出そうとしています。大学・短大・専門学校への進学、就職、あるいは夢に向けた新たな挑戦など、歩む道はさまざまです。しかし、どの道にも期待と可能性が広がっています。これまで培ってきた「諦めない心」と「支え合う力」は、これからの人生においても必ず大きな力となることでしょう。高校生としての経験は、単なる学びにとどまらず、社会へ踏み出すための確かな土台となっています。

今日まで、お子様を温かく見守り、時に背中を押し、共に悩み、共に喜んでくださった保護者の皆様の存在が、子どもたちの成長を支える大きな支えとなりました。進路に迷い、心が揺れる時期もあったことと思います。そのたびに、家庭での励ましや対話が、お子様の心を支え、前へ進む力となっていました。学校では見せない姿や、家庭でしか見せない弱さもあったことでしょう。それらを受け止め、寄り添ってくださった保護者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

卒業式当日は、お子様の晴れ姿をどうぞ温かく見届けていただければ幸いです。そして、これから歩む道のりが、それぞれにとって実り多く、希望に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

そして卒業生諸君！皆さんの物語はここからさらに広がっていきます。これから進む道は一人一人違いますが、どの道を選んでも、皆さんなら大丈夫。困難に出会ったときは、ここで培った粘り強さと仲間を思う心が、必ず皆さんを支えてくれます。どうか、自分を信じて歩み続けてください。

皆さんの未来が、明るく豊かなものであることを心から願っています。

※お気付きの点や、御意見・御質問などありましたら、下に記入の上、お子さんを通じて担任まで御提出ください。

今治北高校の日々の様子をホームページに掲載しています。「今北日記」「生徒の活動」「部活動」など、ぜひ御覧ください。

今治北高等学校 学校公式サイト <https://imabarikita-h.esnet.ed.jp>

----- 切り取り -----

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 名前\_\_\_\_\_